

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公開番号】特開 2002-50467 (P2002-50467A)

【公開日】平成 14 年 2 月 15 日 (2002.2.15)

【出願番号】特願 2000-232369 (P2000-232369)

【国際特許分類】

**H 0 5 B 33/00 (2006.01)**

**H 0 1 L 51/50 (2006.01)**

**H 0 5 B 33/24 (2006.01)**

【F I】

H 0 5 B 33/00

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/24

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 20 日 (2007.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板層と、前記基板層に上に形成された E L 層と、を有し、  
前記 E L 層の陽極層及び陰極層は、光反射性を有し、  
前記 E L 層の発光層から発した光が、前記陽極層及び前記陰極層で反射した導波光を用いて発光することを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

基板層と、前記基板層に上に形成された E L 層と、を有し、  
前記基板層と、前記 E L 層の陰極層とは、光反射性を有し、  
前記 E L 層の発光層から発した光が、前記基板層及び前記陰極層で反射した導波光を用いて発光することを特徴とする発光装置。

【請求項 3】

基板層と、前記基板層の表面に形成された E L 層と、前記基板層の裏面に形成された光反射性部材と、を有し、  
前記 E L 層の陰極層は、光反射性を有し、  
前記 E L 層の発光層から発した光が、前記陰極層及び前記光反射性部材で反射した導波光を用いて発光することを特徴とする発光装置。

【請求項 4】

基板層と、前記基板層の表面に形成された E L 層と、前記基板層に平行な方向に設けられた前記 E L 層から発した光の取り出し口と、を備えた E L 素子を有し、  
前記 E L 素子は、前記光の取り出し口以外の部分が光反射性部材で覆われており、  
前記 E L 層の発光層から発した光が、前記光反射性部材で反射した導波光を用いて発光することを特徴とする発光装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一において、

前記基板層はフレキシブルな材料を用いることを特徴とする発光装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかーにおいて、  
前記基板層は曲面形状であることを特徴とする発光装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかーに記載の発光装置を用いたことを特徴とする電気器具。